

総務省「デジタル活用支援推進事業」等について

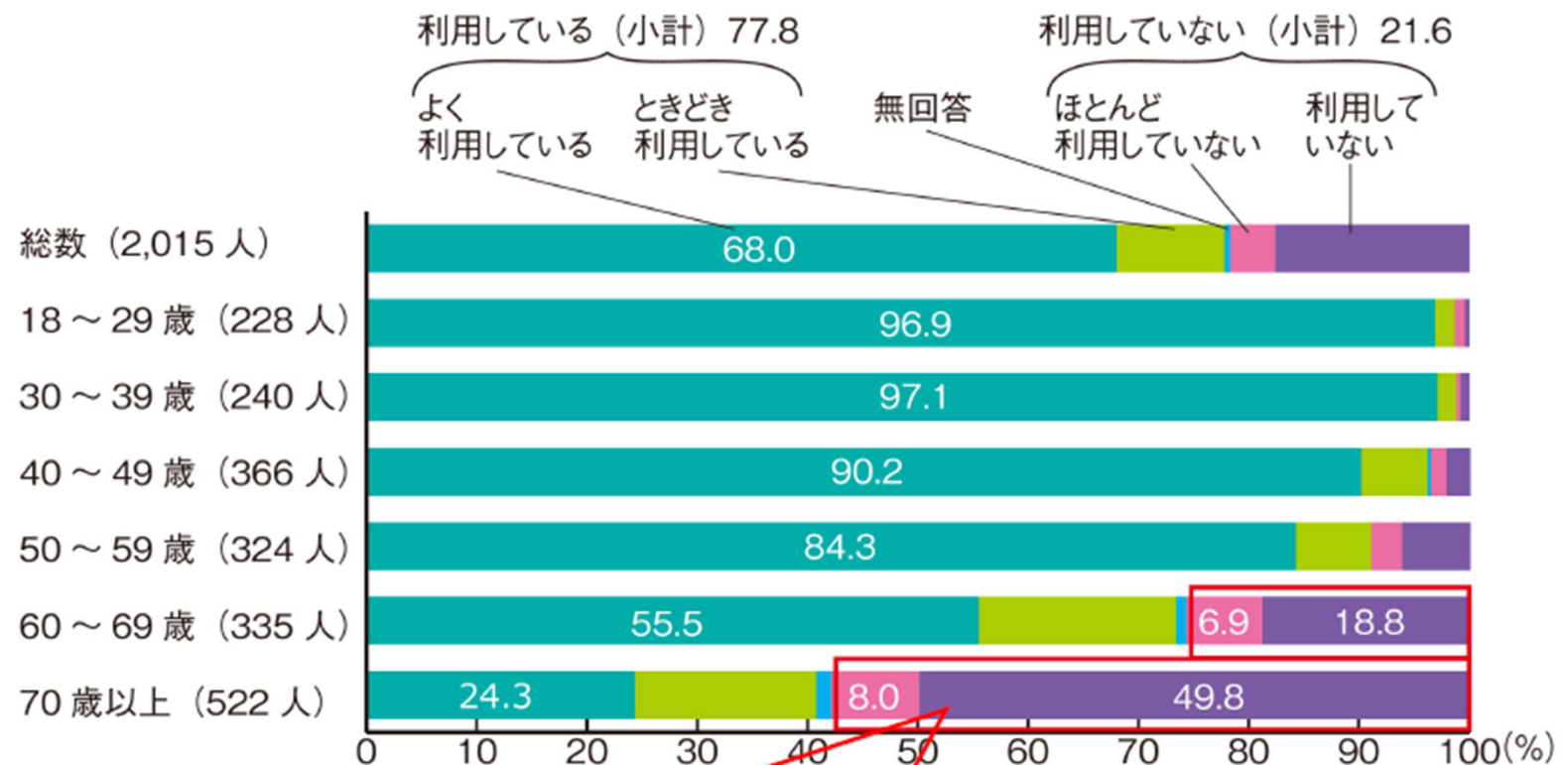
令和4年9月

総務省四国総合通信局

- 社会全体のデジタル化が進められる中、デジタル技術を使いこなせる方々と、そうではない方々の「**デジタル格差**」の**解消**が重要な政策課題となっている。
- 特に**スマートフォンは個人が手軽にオンライン手続きを行うことができるツール**であり、必要とする人に十分な支援を行き渡らせることが急務となっている。

問：あなたは
スマートフォンや
タブレットを
使用していますか？

2021年1月22日
内閣府広報室「情報通
信機器の利活用に関す
る世論調査」



60歳代の25.7%、
70歳以上の57.8%が利用できていない。

支援が必要

高齢者等のデジタル活用における課題

- 新型コロナウイルスワクチンの接種予約が高齢者に優先的に実施されたところ、インターネットに不慣れな高齢者から電話予約が殺到し、電話がつながりにくくなるほか、自治体の窓口業務も混雑した例が見受けられた。
- 今後、マイナンバーカードを利用したオンライン行政手続きが主流になることが想定されている。スマートフォンの普及率が約70%であることを考慮すれば、スマートフォンは個人にとって手軽なオンライン行政手続きのツールであり、高齢者等がスマートフォンを使いこなせないことによって、上記のワクチン予約のような混乱が生じたり、あるいは、そのような高齢者等が公助から取り残される可能性がある。

宮崎日日新聞（2021年5月12日）

「ワクチン予約難しい」 ネット苦手な高齢者悲鳴

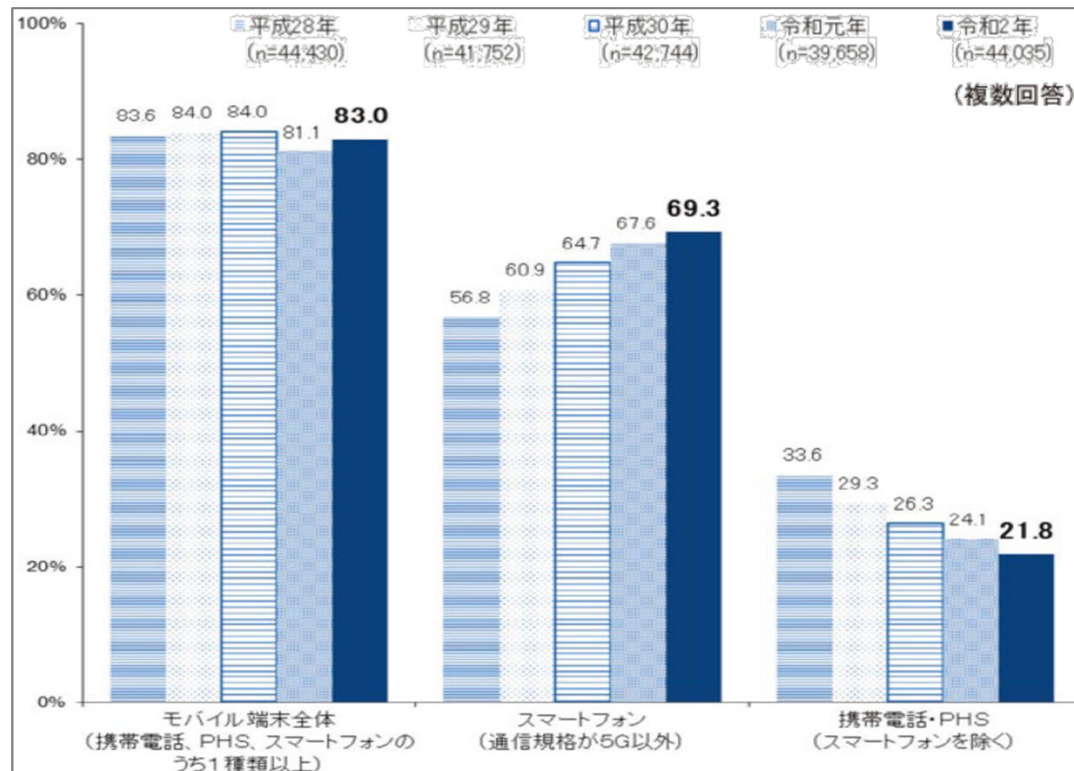
2021年5月12日

高齢者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種予約を巡り、インターネットに不慣れな県内の高齢者から「予約がなかなかできない」と戸惑いの声が上がっている。県内14市町が電話と、ネットや無料通信アプリ「LINE」を併用して受け付けているものの、ネットを避ける高齢者からの電話予約が殺到し、つながりにくくなっているのも一



因。接種への“入り口”で混乱が生じている現状に、電話回線を増やしたり、ネット予約の支援窓口を設けたりと、自治体は手探りで対応を続けている。

モバイル端末の保有状況(個人)(令和2年通信利用動向調査)



デジタル活用支援推進事業の概要

- 新型コロナウイルス感染症により、「人と接触を避ける」オンラインでのサービスの利用拡大が求められている。しかし、**高齢者はデジタル活用に不安のある方が多く**、また、「電子申請ができること自体を知らない」等の理由によりオンラインによる行政手続き等の利用が進んでいない。
- このため、民間企業や地方公共団体などと連携し、**高齢者等のデジタル活用に関する不安の解消に向け、全国の携帯ショップ等で、オンラインによる行政手続き等のスマートフォンの利用方法に関する「講習会」を実施する。**
- 令和2年度は全国11箇所の実証、令和3年度以降は本格的に事業を展開。

(実施イメージ)

国
(総務省)



・デジタル活用支援の
活動に対する補助



携帯ショップのスマホ教室等



デジタル格差解消を図るため、高齢者等の身近な場所で、行政手続きや利用ニーズの高い民間サービスの利用方法の助言や相談などを実施。

<事業実施団体(例)>

- ✓ 携帯キャリア (携帯ショップ)
- ✓ 地元ICT企業
- ✓ 社会福祉協議会
- ✓ シルバー人材センター

・
・

(説明・相談の例)

- ・マイナポータルの使い方
- ・オンラインによる診療や予約
- ・e-Taxの利用方法 等



- 令和4年度新規事業として開始**

四国における「デジタル活用支援推進事業」の取組等

- 四国内では、「デジタル活用推進事業」（**全国展開型**＋**地域連携型**）の講習会について、令和3年度に37市町村で開催、令和4年度には45市町（新規11）において開催予定（2カ年度で計48市町村において開催）。
- 今後、「**講師派遣型**」による講習会も開催される予定。

総務省デジタル活用支援推進事業の実施状況（四国管内）

全国展開型

携帯4キャリアが42市町（90箇所）で順次講習会開催中。

地域連携型

5者が16地域（自治体）で公民館、地域センター等において開催予定。

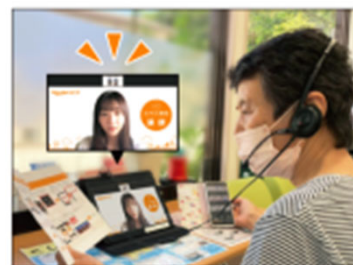
	実施主体（下線はR3に引き続き実施）	実施地域【開催場所等】【講師】
徳島	e-とくしま推進財団	北島町 【役場庁舎】 【県事業のデジタル人材育成講座受講者】
香川		観音寺市、丸亀市、東かがわ市 【公民館】
愛媛	<u>(株)モバイルコム</u> (携帯ショップ運営会社)	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、伊予市、四国中央市、西予市、久万高原町、砥部町 【公民館】 【ドコモショップスタッフ】
	<u>松山市シルバー人材センター</u>	松山市 【公民館】 【センター登録の高齢者人材】
	<u>(株)愛媛CATV</u>	松山市 【公民館、CATVショップ】 【CATVショップスタッフ】
高知	(有)ゴクローサン (携帯ショップ運営会社)	黒潮町 【集会所】 【ドコモショップスタッフ】

講師派遣型

※令和4年8月末現在、審査・選定結果待ち。

愛媛県 デジタルデバインド事業との連携

- 県・市町の協働事業として、**県内100箇所の郵便局**で、専用オンライン端末を使って**無料でスマホ操作の方法等を相談できる窓口**を開設（楽天グループに委託）。高齢者のデジタルデバインド解消に取り組む。
- 総務省「デジタル活用支援推進事業」（地域連携型）と上記事業で**相互に周知協力**する等連携。住民が身近な場所において様々な形でスマホ等の使い方等を相談できる持続可能なモデルづくりを目指す。



（↑出典：愛媛県報道資料）

（県・市町協働事業 周知チラシの例→）

実施者 愛媛県・市町DX推進会議^{※2}

運営 Rakuten シニア 協力 日本郵便

※1 2022年8月時点 ※2 本事業は、愛媛県と県内市町村が協働して実施しています。

令和4年度 四国における取組状況～「地域連携型」の例

◆徳島県北島町の例（実施主体：e-とくしま推進財団）

e-とくしま

スマホ体験教室

～スマホをもっと使いこなしたい方へ～

既にお持ちの方も、これから使いたい方も
どなたでも参加OK！参加費は**無料**です！



**基本的な使い方から
カメラ・地図の操作や
LINEでのビデオ通話
マイナポイント取得まで
目指していきます！**

日時
9月12日～10月31日の間
毎週月曜日 14:00～16:00

- ① 9月12日
- ② 9月26日
- ③ 10月 3日
- ④ 10月17日
- ⑤ 10月24日
- ⑥ 10月31日

計6回連続しての受講をお願いします

会場
会場名 北島町役場 5階研修室
住 所 北島町中村字上地23番地1

募集
先着**10名**（定員になり次第、
締め切りとさせていただきます）

9月5日 8時20分から電話受付開始
申し込み先：北島町社会福祉課
TEL:088-698-9802

※体験いただくスマホは準備します

主催）公益財団法人 e-とくしま推進財団
共催）北島町

◆高知県黒潮町の例（実施主体：ゴクローサン）

スマートフォン教室のお知らせ **参加無料**

スマホの基礎から、分かりやすく
理解できる無料教室です。
スマホを使った健康増進サービス
「健康パスポート」の活用まで、
楽しくいっしょにマナビましょう！



紙のパスポートから
スマホへ切り替え！

高知家 健康パスポート
おトクをたのしみながら健康な生活へ！

【スマートフォン教室の実施内容と開催時間】

- ①【基礎講座】電源の入れ方、基本的な操作方法
10月3日 14:30～15:30
- ②【基礎講座】アプリのインストール方法
10月3日 15:40～16:40
- ③【応用講座】健康パスポートの使い方
11月7日 14:30～15:30

※スマホをお持ちでない方には貸出しあります。
※教室内で使うテキストは、持ち帰ることが出来ます。

**認定講師が
担当します**

開催日時：10月3日（月）・11月7日（月）
開催場所：あったかふれあいセンターこぶし

定員：10名様
事前申込みが必要です

申込先：黒潮町役場 地域住民課 保健センター 電話：55-7373
講師派遣元：ドコモショップ四万十東店 電話：0880-34-5963

令和4年度利用者向けデジタル活用支援推進事業／実施事業者：有限会社ゴクローサン

地方公共団体による独自の取組の推進

【参考】地域社会のデジタル化を強力に推進するため、令和3年度に引き続き令和4年度においても、地方財政計画に「**地域デジタル社会推進費**」を2,000億円計上

地域におけるデジタル活用支援の取組例

○公民館等で地域おこし協力隊等を講師とした出張講座の開催や相談対応の実施などのアウトリーチ型支援



＜地域運営組織等による場の設定＞

（講座内容）

- ・デジタル機器や基本アプリの使用法
- ・ぴったりサービスを利用した行政手続のオンライン申請方法等

（講師）

- ・地域おこし協力隊、集落支援員（OB・OG含む）等
- ・民間事業者等からの派遣

○地域の担い手等のスタッフによるサポートを受けられる場づくり

【取組のイメージ】

- ・毎週●曜日■時～▲時、「デジタルふれあいカフェ」を開催
- ・会場は地域の拠点施設や飲食店等
- ・スタッフとして、地域の携帯ショップ等のスタッフや学生等住民からボランティアを募集
- ・スタッフによる支援、参加者同士の教え合い
- ・Wi-Fiを設置、また、参加者自らスマホ決済での購入体験



○地域住民のデジタル活用支援を担う地域おこし協力隊等の登用による支援体制充実



※ このほかにも、地域の民間事業者やNPO等への委託、住民に身近な各種団体との連携、地域活性化起業人（企業人材派遣制度）の活用による実施



連携

国事業の枠組みの活用

- 講座の講師となる者や相談対応をする者の育成のため、国事業の**研修の受講**や**講師用教材の活用**
- 地方公共団体からの依頼に基づく、国事業の講師の派遣
- 国事業において作成する、一般の**受講者向けの教材・動画の活用**
- 近隣の携帯電話ショップ等において国事業の講座等が実施される場合の**周知広報の協力**



- 本事業を周知広報するため、「デジタル活用支援推進事業」を表すロゴマークを制作、ポータルサイトの構築、チラシ・ポスター等の作成・配布、政府広報テレビ番組の作成等を実施の公募情報、FAQ、実施ガイドライン、研修実施要領等は、HPに掲載。
- 講習会等の開催情報や教材・動画等の閲覧も可能。



HOME 講習会 標準教材・動画 事業説明 地方公共団体の方へ

デジタル活用 支援推進事業とは？

高齢者をはじめとした様々な方が身近な場所で身近な人からデジタル機器・サービスの利用方法を講習会で学ぶことができます。

スマートフォンを使いこなしたい、オンラインで行政手続を利用したい、という方は講習会の開催情報を検索し、お近くの開催場所です「デジタル活用支援講習会」に参加してみましょう。

デジタル活用支援推進事業の詳細はこちら

デジタル活用支援講習会の検索

「デジタル活用支援講習会」の開催場所を調べることができます。

標準教材・動画

講座で使用する教材の入手や、スマホ講座の動画の視聴ができます。

同ポータルサイトでは、

- ① 受講者向け、
- ② 地方公共団体向け、
- ③ 事業実施団体（講師）向け

のように、閲覧者の目的・関心に応じた情報を提供。



ポータルサイト

(<https://www.digi-katsu.go.jp/>)

参 考

地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証

医療・ヘルスケア分野の事例

【5G活用モデルの動画のご紹介】

5G活用モデルの創出

5Gの活用モデルの創出に向けた総務省の取組を紹介します。

すべて 新着 実証試験概要・報告書 ダイジェスト スマートオフィス・テレワーク セキュリティ・防災 商業 医療 交通

医療



動画 医療・救急

平成30年度5G総合実証



動画 遠隔医療

平成29年度5G総合実証



動画 医療・ヘルスケア

令和2年度ローカル5G開発実証



動画 介護支援・生活支援

令和元年度5G総合実証



動画 医療・救急搬送

令和元年度5G総合実証

こちらから医療分野の5G活用モデルの動画をご覧になれます→

<https://go5g.go.jp/carrier/>



- 令和4年度実施事業については、6月30日まで公募を実施し、外部の有識者を構成員とした評価会等の結果を踏まえ、対象となる提案を選定（8月5日に公表）
- 20件採択中、4件が医療・ヘルスケア分野。（うち、1件は四国（徳島県）で実施）

件名	代表機関	主たる実施地域
ローカル5Gを活用した地域モビリティによる遠隔高度医療サービス提供に関する実証	東日本電信電話株式会社	北海道岩見沢市
ローカル5Gを活用した院内外の次世代薬剤トレーサビリティ及び医療従事者の業務改善の実現	東日本電信電話株式会社	群馬県前橋市
ローカル5Gを活用した大都市病院間の広域連携による救命救急医療の強靱化と医師の働き方改革の実現	トランスコスモス株式会社	神奈川県川崎市
高精細映像伝送による院内ICU等の遠隔モニタリング及び救急医療連携の高度化に関する実証	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	徳島県徳島市

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000325.html

https://www.mri.co.jp/news/public_offering/20220725.html#02

採択された実証事業企画の概要は、後日、本ページにて公開予定です。

(令和3年度 実施事業(全国で1件))

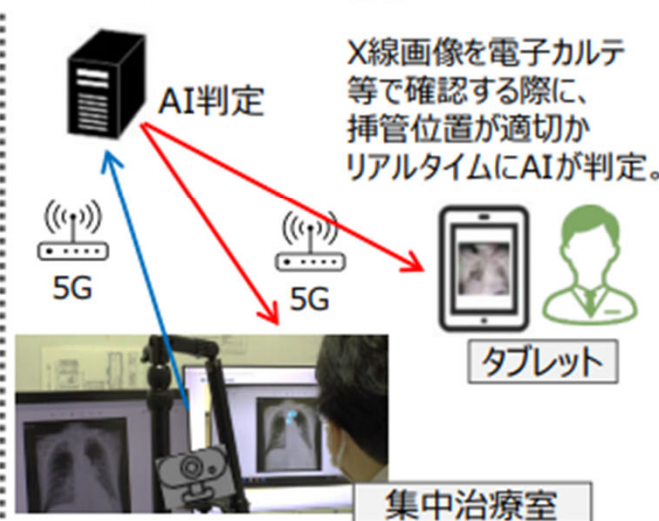
大都市病院における視覚情報共有・AI解析等を活用したオペレーション向上による医療提供体制の充実・強化の実現

実施体制 (下線：代表機関)	トランスコスモス(株)、(株)NTTドコモ、聖マリアンナ医科大学、川崎市	実証地域 神奈川県川崎市 (聖マリアンナ医科大学病院)
実証概要	我が国では、救急・災害医療体制の強化が求められている一方、特に年間2,000件以上の救急搬送を受け入れている医療機関では、医師不足・長時間労働という課題が存在。 ➢ 病院内の夜間急患センターにおいて、ローカル5Gを活用した、視覚情報共有（患者の状況を、病院内の関係部署へ伝送し情報共有）、気管内チューブ等位置AI判定、遠隔CT画像共有、大容量X線動画データ転送に関する実証を実施。 ➢ 持続可能な地域医療構想の構築を実現。	
主な成果	➢ 視覚情報共有のための伝送遅延時間は、小型4Kカメラ、スマートグラスでは性能要件に定めた概ね1秒以内を達成し、遠隔での情報共有の有効性を確認。また、胸部単純X線写真（レントゲン）のAI画像判定の有効性の他、容量700MBのX線動画データを連続的に転送することにも成功。 ➢ ローカル5Gの活用により、業務の効率化、医療の高度化に寄与し、医療提供体制の強化への貢献できる可能性を確認。	
技術実証	➢ 病院における28GHz帯の建物侵入損を考慮した電波伝搬モデルの精緻化や、電波反射板を用いた28GHz帯での病院内の不感地帯解消及び隣接する他者土地への漏洩電力の抑制の検証を実施。 ➢ 周波数：4.5GHz帯(100MHz)、28GHz帯(400MHz)（キャリア5G）構成：NSA方式 利用環境：屋内	
主な成果	➢ 外壁の建物侵入損は一般的な壁面(20.1dB)より小さい17.2dB程度であるものの、建物内の複数壁面の影響によりカバーエリアが概ね建物内におさまることを確認。基地局からの方向別に、内壁の枚数や素材等を考慮して建物侵入損を設定することを提案。 ➢ 電波反射板の活用により不感地帯においてULスループットの改善を確認。	
今後の展開	令和4年度は、聖マリアンナ医科大学病院の新棟建設にあわせ、ローカル5G実装に向けた調整を実施。令和5年度には、使用ツールの最適化を行い、利便性を向上させる。令和6年度に他の医療機関等へのテスト導入等を通じた実績を積み、令和7年度以降、全国の医療機関への積極的な展開を図る。	

360度カメラ・スマートグラス等を活用した視覚情報共有



気管内チューブ等位置AI判定



遠隔CT画像共有

